



北海道立旭川高等看護学院

看護学科



〒078-8803

旭川市緑が丘東3条1丁目1番2号

北海道立旭川高等看護学院 看護学科

電話 (0166) 65-7100 直通

看護職を目指す皆さんへ

看護職とは、保健師・助産師・看護師・准看護師のことです。

看護師の仕事は、傷病者や妊産婦の療養上の世話や診療の補助を行うことです。看護の対象は、個人から集団（家族、地域、職場など）と幅が広く、健康な人から病気や障害をもちながら生活している人になります。看護師は、「人を見る」という看護師独自の視点で、対象となる人を身体や精神、社会、文化など、さまざまな側面からとらえ、情報を総合的にアセスメントして必要な看護を的確に判断します。超高齢社会を迎えている中で、保健・医療・福祉チームにおけるリーダーシップを担う人材としても、看護師はますます必要とされています。

看護師の資格は、看護師養成所などにおいて必要な教育課程を修めた人が、看護師国家試験に合格して、厚生労働大臣から免許が交付されます。なお、助産師、保健師になるためには、看護師の国家試験の合格が必須となります。

看護職の活動の場

病院・診療所



入院患者さんには 24 時間、交代で看護します

訪問看護



家庭を訪問してケアを提供し、利用者と家族を支えます

保健センター・保健所



地域住民を対象に予防活動や健康保持・増進を支援します

災害看護



被災者に必要な医療処置やケアを提供します

国際ボランティア活動
(青年海外協力隊など)



発展途上地域で青年海外協力隊などの活動に参加します

ドクターヘリに搭乗し、医師と共に患者さんの救命活動を行います

フライトナース



介護保険施設、社会福祉施設

働く人々の健康管理や心と身体の健康相談をします

企業の健康管理室



利用している高齢者などの健康管理やケアを行い、毎日の生活を支えます

産科・助産所



妊婦さんの健康管理や出産を介助し、子育ての支援もします



学校の保健室



児童・生徒の健康管理や相談に応じます

看護大学や学校などの看護学生の教育・指導や研究を行います

看護の教育機関



*日本看護協会「やっぱり看護のシゴト」より一部引用

北海道の保健医療に貢献できる看護師を目指して

当学院で一緒に学んでみませんか？

本学院では、次のような資質を有する学生を求めています。

- ☆ 北海道内で看護職として活動できる人
- ☆ 人間の存在と生命を尊重し、相手も自分も大切にできる人
- ☆ 相手を思いやり、他者と協調して行動できる人
- ☆ 何事にも興味・関心を持ち、自ら積極的に学習できる人
- ☆ 看護師、保健師、助産師としての志が明確で、看護実践への取り組み意欲が高い人



1 本学院の設置目的および使命

北海道立旭川高等看護学院は、保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）に基づき、保健師、助産師又は看護師としてそれぞれ必要な専門的知識及び技能を修得させるとともに、その徳性を養うことを目的とし、医療及び公衆衛生の普及向上に寄与することを使命とする。

2 教育理念

北海道立旭川高等看護学院は、人間の存在と生命を尊重し、人間理解を追求するとともに豊かな人間性を養い、看護専門職者として北海道の保健医療福祉に貢献する人材を育成することを目指す。

3 教育目的

人間を尊重し、科学的思考力、倫理的価値観を基盤とし、あらゆる健康レベルの個人及び家族・集団に対して、多様な場で質の高い看護を実践できる看護師を育成する。

4 教育目標

- (1) 人間の生命や存在を尊重する態度を身につける。
- (2) よりよい人間関係を築くためのコミュニケーション能力を身につける。
- (3) 科学的思考を基に、心のこもった看護を実践できる基礎的能力を身につける。
- (4) 専門職としての責務を自覚し、看護倫理を基に看護を実践できる基礎的能力を身につける。
- (5) 保健・医療・福祉チームにおける看護の役割を自覚し、多職種と連携・協働できる基礎的能力を身につける。
- (6) 専門職業人としての自覚をもち、看護を探究し続ける力を身につける。

卒業生の特性

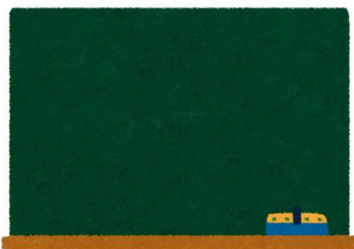
- 1 人間を統合された生活者として捉え、人間の生命や存在を尊重できる。
- 2 自己をコントロールし、よりよい人間関係を築くために意図的なコミュニケーションがとれる。
- 3 対象の健康状態がより改善するために、科学的根拠に基づき、心のこもった看護が実践できる。
- 4 看護倫理に基づき看護が実践できる。
- 5 多職種と連携・協働しながら、看護が実践できる。
- 6 自己の看護観を明確にし、主体的・能動的に看護を探究できる。



看護学科では、講義や演習、臨地実習をとおして卒業までの3年間で91科目104単位3015時間の学習をしていきます。

入学後は、専門職業人になる者としての自覚をもち、看護学生として自ら主体的に学び続けることが求められます。また、信頼される看護師になるためには、看護実践能力を身につける必要があります。それには科学的・論理的思考やコミュニケーション能力、豊かな人間性と倫理観を培っていくことが必要となります。

新カリキュラムでは、自己のコントロールができるように瞑想やヨガを導入しています。また、コミュニケーション能力を高められるように科目を追加しています。



学院の授業は、1講義90分となります。

1 講義 9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0

(休 憩)

2 講義 1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0

(お昼休み)

3 講義 1 3 : 1 0 ~ 1 4 : 4 0

(休 憩)

4 講義 1 4 : 5 0 ~ 1 6 : 2 0



〈本学院の強み〉

- 授業料など学費が安いです。(3年間諸経費は、大学の1年分の学費よりも安いです)
- 8年連続で国家試験の合格率が100%です。
- 大学病院の医師や看護師が講義に来てくれます。
- 実習施設が市内の大学病院や総合病院が中心です。
- 学年間の交流の場があります。
- 同じ学校の中に、保健師や助産師の学科があるため進学しても慣れた環境で学習ができます。

8 看護学科教育課程

区分		授業科目	単位数	時間	区分	授業科目	単位数	時間	
基礎分野	科学的思考の基盤	論理学	1	30	専門分野	地域・在宅看護論	地域・在宅看護概論Ⅰ	1	15
		哲学	1	30			地域・在宅看護概論Ⅱ	1	30
	人間の理解	心理学	1	30			地域・在宅看護援助論Ⅰ	1	30
		教育学	1	30			地域・在宅看護援助論Ⅱ	1	15
		リフレクション	1	15			地域・在宅看護援助論Ⅲ	1	15
		健康と運動Ⅰ	1	30			地域・在宅看護援助論Ⅳ	1	15
		健康と運動Ⅱ	1	15		小計	6	120	
	人間と健康の理解	文化人類学	1	30		成人看護学	成人看護学概論	1	30
		社会学	1	15			成人看護学援助論Ⅰ	1	30
		生活環境論	1	15			成人看護学援助論Ⅱ	1	30
		人間関係論Ⅰ	1	30			成人看護学援助論Ⅲ	1	30
		人間関係論Ⅱ	1	15			成人看護学援助論Ⅳ	1	30
		情報科学	1	30			成人看護学援助論Ⅴ	1	30
		英語	1	30		小計	6	180	
小計		14	345	老年看護学	老年看護学概論	1	30		
人体の構造と機能	解剖学	2	45		老年看護学援助論Ⅰ	1	30		
	生理学	2	45		老年看護学援助論Ⅱ	1	30		
	生化学	1	30		老年看護学援助論Ⅲ	1	15		
	栄養学	1	30	小計	4	105			
疾病の成り立ちと回復の促進	薬理学	1	30	小児看護学	小児看護学概論	1	15		
	微生物学	1	30		小児看護学援助論Ⅰ	1	30		
	病理学	1	30		小児看護学援助論Ⅱ	2	45		
	病態学Ⅰ	1	30	小計	4	90			
	病態学Ⅱ	1	30	母性看護学	母性看護学概論	1	15		
	病態学Ⅲ	1	30		母性看護学援助論Ⅰ	1	15		
	病態学Ⅳ	1	15		母性看護学援助論Ⅱ	1	30		
	病態学Ⅴ	1	15		母性看護学援助論Ⅲ	1	30		
	病態学Ⅵ	1	15	小計	4	90			
	治療論	1	15	精神看護学	精神看護学概論	1	30		
	健康支援と社会保障制度	社会福祉論	1		30	精神看護学援助論Ⅰ	1	15	
生命倫理		1	15		精神看護学援助論Ⅱ	1	30		
看護と法規		1	15		精神看護学援助論Ⅲ	1	15		
家族看護論		1	15	小計	4	90			
現代医療論		1	15	看護の統合と実践	医療安全	1	15		
公衆衛生学		1	30		災害看護・国際看護	1	15		
小計	22	510	看護管理		1	30			
統合と実践	1	30	看護研究		1	30			
専門分野	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1	30	小計	5	120		
		看護学概論Ⅱ	1	30	臨地実習	基礎看護学	基礎看護学実習Ⅰ	1	45
		生活環境調整技術	1	15			基礎看護学実習Ⅱ	2	90
		感染予防技術	1	15		地域・在宅看護論	地域・在宅看護論実習Ⅰ	2	90
		食事・排泄の援助技術	1	30			地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90
		活動・休息の援助技術	1	30		成人・老年看護学	成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90
		清潔・衣生活の援助技術	1	30			成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90
		フィジカルアセスメント技術	1	30			成人・老年看護学実習Ⅲ	2	90
		コミュニケーション技術	1	30			成人・老年看護学実習Ⅳ	2	90
		診療補助技術	1	30		小児看護学	小児看護学実習Ⅰ	1	45
		看護過程	1	30			小児看護学実習Ⅱ	1	45
		臨床看護総論	1	30		母性看護学実習	2	90	
	小計	12	330	精神看護学実習		2	90		
	総計					統合実習	2	90	
				臨地実習小計	23	1035			
				総計	104	3015			

学生生活



これから始まる学院生活について、紹介します。

1年生

4月

入学式 入学ガイダンス
健康診断・避難訓練・護身術
新入生歓迎会（学生会主催）



いよいよ看護についての学習が始まります！

1年次は看護に必要な基礎的知識として、看護の対象となる人間への関心と理解を深める学習や人体のしくみとはたらき、看護の基礎技術などを主に学習していきます。

5月

6月

病院見学（2施設を各1日見学）
交流会（1・2年生）

7月

基礎看護学実習Ⅰ（4日間）
— 夏期休暇 —
オープンキャンパス（ボランティア）

8月

オープンキャンパスでは、在校生が看護技術を実践します。

9月

また、学院生活の話や質問にも答えます。

10月

道北地域医療施設説明会

11月

12月

学生交流会（学生会主催）
— 冬期休暇 —

1月

基礎看護学実習Ⅱ（2週間）

2月

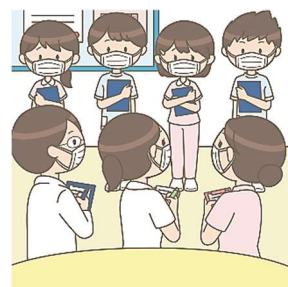
単位認定

3月

卒業生を祝う会（学生会主催）
— 春期休暇 —

<基礎看護学実習Ⅰ>

看護実践場面の見学や患者様とのコミュニケーションをとおして、入院患者の生活の様子や病院の環境、看護について学びます。



<基礎看護学実習Ⅱ>

初めて、受持患者様を担当します。患者様にどんな看護が必要なのかを考えます。また、看護師と一緒に、受持患者様の日常生活における援助を行います。

2年生

始業ガイダンス（年間目標の確認）
健康診断・避難訓練・護身術
新入生歓迎会(学生会)

成人・老年看護学実習 I

看護過程の展開

交流会（1・2年生）

看護技術演習

— 夏期休暇 —

オープンキャンパス（ボランティア）

小児看護学実習 I（保育所）



地域・在宅看護論実習 I

道北地域医療施設説明会

成人・老年看護学実習 II

回復期・慢性期の看護



— 冬期休暇 —

2年次は、3年生の各看護学実習のために、知識・技術を確実に身につけて準備を整える期間になります。

単位認定

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

3年生

始業ガイダンス（年間目標の確認）
健康診断・避難訓練・護身術
新入生歓迎会(学生会)

就職活動

看護学実習開始

（成人・老年Ⅲ～Ⅴ、精神、小児Ⅱ、母性、
地域・在宅Ⅱ）

— 夏期休暇 —

オープンキャンパス（ボランティア）

国家試験模擬試験

就職活動

看護学実習（成人・老年Ⅲ～Ⅴ、母性、小児Ⅱ、
精神、小児Ⅱ、母性、地域・在宅Ⅱ）

3年間で学んだ知識・技術・態度を統合し、
看護実践につなげます。
また、自己の看護観についても深めていきます。

芸術鑑賞



統合実習

— 冬期休暇 —

国家試験模擬試験

統合技術演習

単位認定・卒業認定

看護師国家試験受験（札幌）

卒業生を祝う会/卒業式

国家試験合格発表



卒業後の資格

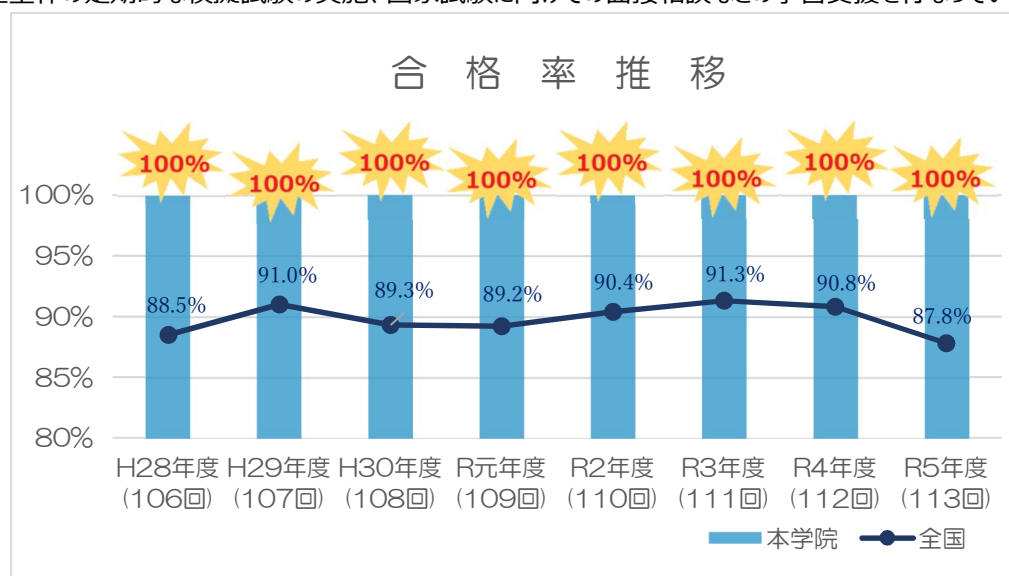
- 看護師国家試験の受験資格
- 保健師・助産師・養護教諭養成機関受験資格
- 大学編入学受験資格（3年次）



国家試験合格率

本学院は看護師国家試験において、高い合格率を保持しています。

学生主体の定期的な模擬試験の実施、国家試験に向けての面接相談などの学習支援を行なっています。



卒業後の進路

本学院は昭和48年に開校して以来、これまでに約1800名ほどの卒業生を送り出しています。卒業生の多くは、旭川市内をはじめとする道北地域の医療機関に就職し、北海道の地域医療に貢献しています。また約1割の学生は、保健師や助産師をめざして、本学院の地域看護学科（保健師）や助産学科、看護系の大学へ進学しています。全道各地のさまざまな職場で、多くの卒業生が活躍しています。

<主な就職先>

旭川医科大学病院、市立旭川病院、旭川医療センター、旭川赤十字病院、旭川厚生病院、名寄市立総合病院、士別市立病院、留萌市立病院、市立稚内病院、道立病院
ほか

<主な進学先> 北海道立旭川高等看護学院地域看護学科・助産学科、大学への編入など

